



《教育目標》 人間性豊かで、創造力・実践力に富む生徒の育成

学校評価アンケート結果・分析報告

- ★ 表内の数字は、「あてはまる」「だいたいあてはまる」の割合%を表しています。
- ★ 「↑」は、昨年度の結果と比較して5ポイント以上増加した項目を表しています。
- ★ 「↓」は、昨年度の結果と比較して5ポイント以上減少した項目を表しています。

NO	質 問 内 容 (各項目に対する各学年生徒・保護者の満足度を掲載しています。)	生徒				保護者
		1年	2年	3年	合計	
1	学校へ来るのは楽しい	95	85 ↓	95	92	85
2	学校で学んだ道徳・人権学習を普段の生活につなげている	91	81 ↓	90	87	85 ↓
3	自分からいろいろな人とコミュニケーションをとろうとしている	95	85 ↓	90	90 ↑	83
4	自分の力を発揮して学習や様々な活動に参加している	95	85	81	86	77
5	先生は、一人ひとりの意見を大切にして授業を進めている	95	92	90	92	79
6	授業は、わかりやすい	91	96	95	94	72
7	家庭学習はきちんとやっている	82	58 ↓	67 ↑	68	77 ↑
8	先生は、自分が困ったときに相談にのってくれる	91	92	95 ↑	93	91
9	先生は、いじめや暴力などの問題があったときに対応してくれる	95	92	100 ↑	96	85 ↓
10	家庭や地域の中で、あいさつができています	95	85	95	92	81 ↓
11	学校では、正しい服装やきまりなどをきちんと守っている	95	96	100	97	94 ↓
12	ホームページ・通信などから学校の様子が分かる	100	88 ↓	95	94	94
13	学校の中は、快適・安全に生活できる環境になっている	95	85 ↓	100	94	92 ↓
14	日々の清掃活動等に真面目に取り組んでいる	86	81 ↓	95	88	85
15	防災に関する学習は、自分自身の意識の向上に役立っている。	95	92	100	96	79 ↑

全学年共通

まずは、①「学校に来るのは楽しい」と答えた生徒の割合が昨年度に引き続き高いレベルをキープしています。学校が生徒たちにとって安心して集える場であることがわかります。

学習面についての、⑤「先生は、一人ひとりの意見を大切にして授業を進めている」と⑥「授業は、わかりやすい」において、生徒の結果と保護者の結果で満足度に差があります。ほとんどの生徒が満足をしている一方、その満足感などを家庭できちんと話せているのかどうか検証する必要があります。また、⑦の家庭学習に関する質問では、昨年度に比べ生徒は4ポイント、保護者は14ポイント向上していますが、習慣としてしっかりと定着するという点ではまだ道半ばの状況です。令和の日本型教育では個別最適な学び、なかでも学習の個性化が掲げられています。家庭学習においても、その趣旨からすると、いわゆる全員一律の「宿題」からの方向転換が求められています。学校との授業と家庭学習をうまく連動させ、生徒の学力と学習意欲の向上につながる方法を検討していく必要があります。

生活面については、⑪「正しい服装やきまりなどをきちんと守っている」での満足度が生徒、保護者とも高い結果であることから、この地域の規範意識の高さが見て取れます。地域に育てられている生徒たちの姿を感じます。これに対して、⑩「家庭や地域の中で、あいさつができています」や⑭「日々の清掃活動等に真面目に取り組んでいる」で僅かながら減少傾向がみられます。人間性豊かな生徒の育成のためには最も大切にすべき点であると捉え、課題意識を持って指導していきます。

その他については、⑫「ホームページ・通信などから学校の様子がわかる」における生徒、保護者の満足度が94%と高くなっています。これからも内容の精度を高めるとともに、ホームページの紹介、学校通信や学年通信を帰りの会で読むなど丁寧に伝えていきます。本校のホームページでは、学校通信や日々の活動の様子等を閲覧できます。学校通信、学級通信、進路通信をお子さんに配付しておりますので、ご確認いただければと思います。また、

校区で力を入れて取り組んでいる「防災学習」については、生徒・保護者共に満足度が上がっています。特に保護者に関しては12ポイントも向上しています。引き続き地域との連携・協働を深め、地域防災の担い手の育成に尽力していきたいと思えます。

このアンケート結果をもとに、今後も引き続き職員個々の力量を今以上に高め、生徒一人ひとりを丁寧に見とり、自己肯定感を高めていくように努めたいと思えます。

1年生

生徒については、学校生活において、おおむね満足度は高いと言えます。特に「学校へ来るのは楽しい」「自分からいろいろな人とコミュニケーションをとろうとしている」「自分の力を発揮して学習や様々な活動に参加している」「学校の中は、快適・安全に生活できる環境になっている」「先生はいじめや暴力があった時にきちんと対応してくれる」はいずれも95%となっています。

学習については、生徒は「先生は一人ひとりの意見を大切に授業を進めている」「授業はわかりやすい」は95%ですが、保護者については前者が64%、後者は57%となっており、乖離が見られるのがやや気になるところです。これは、生徒が家庭で学校の様子を十分に伝えきれていないことや、テストの結果等に結びついていないことが理由として考えられます。「家庭学習をきちんとしている」については生徒・保護者共に高いので、授業で学習した内容と家庭学習を連携させ、学力向上につながるようにしていきます。

また、「先生は自分が困ったときに相談に乗ってくれる」「学校はお子さんに親身な対応をしている」はともに90%をこえており、日頃からの関係づくりが良好であることがうかがえます。学校づくりビジョンの「一人ひとりにきめ細かく丁寧に接し、この子の個性を大切に伸ばす」取組を今後も継続していきます。

2年生

生徒については、学校生活において、「学校へ来るのは楽しい」「自分からいろいろな人とコミュニケーションをとろうとしている」「自分の力を発揮して学習や様々な活動に参加している」「学校の中は、快適・安全に生活できる環境になっている」はいずれも85%となっています。昨年度比はいずれも5ポイント以上低下しています。

学習については、生徒は「先生は一人ひとりの意見を大切に授業を進めている」92%、「授業はわかりやすい」は96%と高い満足度です。保護者の満足度についても、昨年に比べると15ポイント以上の増加がみられます。一方「家庭学習をきちんとしている」について、生徒は58%と、昨年に比べ5ポイント以上の低下が見られ、3学年で最も低いのが気になりますが、保護者の満足度については82%で、昨年に比べると30ポイント以上の増加がみられます。

また、「先生は自分が困ったときに相談に乗ってくれる」「学校はお子さんに親身な対応をしている」はともに90%をこえており、1年生同様、日頃からの関係づくりが良好であることがうかがえます。全体として、保護者と生徒の回答に対して乖離がみられます。今後の進路選択に向けて、ご家庭内でのコミュニケーションを今まで以上に重視していただきたいと考えています。

3年生

15の質問項目に対する満足度は生徒平均93%、保護者平均85%となっており、概ね満足していただいていると考えます。大きく変わったものは、保護者の「お子さんは、学校での防災に関する学習（避難訓練や防災教室等）について話をしている」27ポイント高くなっており、防災への関心の高さがうかがえます。

生徒については、学校生活において、「学校へ来るのは楽しい」「自分からいろいろな人とコミュニケーションをとろうとしている」「学校の中は、快適・安全に生活できる環境になっている」はいずれも90%を越えており、高い満足度を示しています。

学習については、生徒は「先生は一人ひとりの意見を大切に授業を進めている」90%、「授業はわかりやすい」は95%と高い満足度です。一方「家庭学習をきちんとしている」について、生徒は67%となっており、最高学年としてはやや不安な結果となりました。

また、保護者の「お子さんは、家庭や地域であいさつをしている」「学校は、お子さんに親身な対応をしている」12ポイント低くなっています。反面、生徒の「先生は、自分が困ったときに相談にのってくれる」「先生は、いじめや暴力があったときにきちんと対応してくれる」14ポイント高くなっています。最高学年として進路のことも踏まえて、ご家庭での話し合いが多くなっているものと考えられます。